

## 2017 アートマイル国際交流壁画共同制作プロジェクト 報告書

日本学校名 [ 赤穂市立有年小学校 ] 担当教諭名 [ 田中 浩幸 ] ( 5年1組 7名 )

相手国・地域 [ カナダ ]

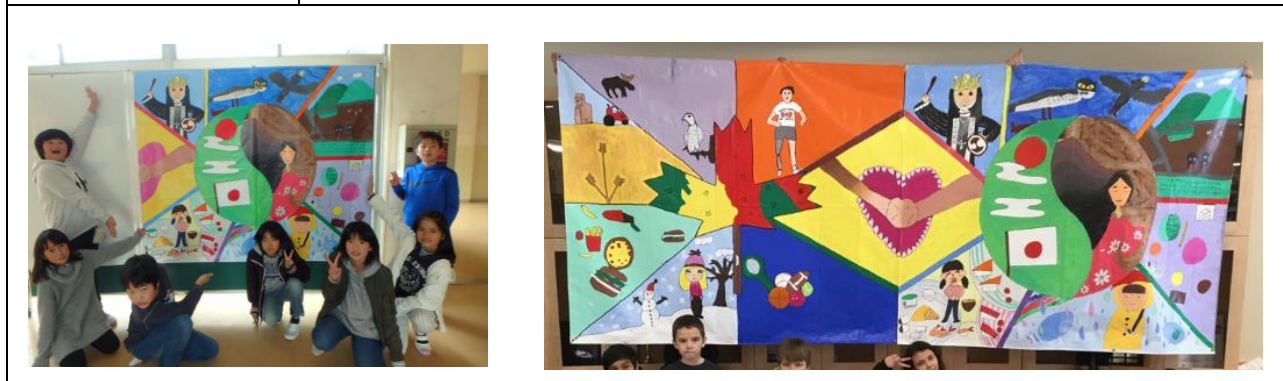
海外学校名 [ Bridgewood Public School ] 担当教諭名 [ Jim Lamoureux ]

### ■実施教科・時間数について教えてください。

	教 科	単 元 名	時間数
アートマイルに関連した 実施教科・時間数	総合的な学習の時間	世界とつながろう	26

### ■作品に込めた想いについて教えてください。

題 (テーマ)	When we have a better understanding of each other, we can work together to make the world a better place.
メッセージ (相手と想いを合わせて 世界に発信したいメッセージ)	お互いの理解を深めていくと、より良い世界を作るために一緒に働くことができる。



### ■今回の取り組みの成果と課題はどういった点でしょうか？

成 果	課 題
<ul style="list-style-type: none"> <li>外国の子どもたちと交流できる貴重な機会となった。</li> <li>相手国のことをもっと知りたいと思い、異文化に興味をもつことができた。</li> <li>自分の地域の良さを知り、相手に伝えようという気持ちが育った。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>教科学習とのバランス(時間数)をどうとるのが難しい。</li> <li>skype ではあまり英語で交流ができず、児童同士のコミュニケーションがとれなかった。</li> </ul>

### ■アートマイルに取り組む前と比べて相手の国・地域や世界に対して意識はどう変わりましたか？

児童生徒の意識の変化	教師の意識の変化
<ul style="list-style-type: none"> <li>相手国を身近に感じた。</li> <li>ICT 機器により、外国の人とも交流ができることを肌で感じた。</li> <li>一つの目標に向かって協力することの大切さを学んだ。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>相手国を身近に感じた。</li> <li>skype で他国との交流がリアルタイムでできることに改めて驚き、グローバル化の必要性を理解した。</li> <li>言語が異なる国との交流の難しさを感じた。</li> </ul>

■主な活動の流れを教えてください。

場面	時期	活動内容	児童生徒の反応	実施教科等
出会い 自己紹介	9月	・Skypeによる自己紹介。 ・フォーラムに自己紹介動画をアップする。	・Skypeでリアルタイムでつながれることに感動。	総合4
共有 テーマ学習	10月	・自分たちの国の紹介を、フォーラムで交流。好きな食べ物や歌手を紹介する動画を撮影し、フォーラムにアップした。相手国も同様に取り組んだ。	・自分たちの国のことを再認識した。	総合7
融合 想いを形に ・メッセージ ・壁画デザイン	11月	・自分たちが紹介した文化をもとに、両校で原案を作成。Skype等で相談して案を決定する。	・相手に絵の内容が伝わるように考えた。	総合3
創造 壁画制作	11月 12月	・専用絵の具でキャンバスに塗る。 ・12月下旬に発送。	・良いものを作ろうと、作業を分担して、描画作業に取り組んでいた。	総合8
評価 振り返り 自己評価	1月 ～ 3月	・自分たちの取り組みを学習発表会で発表した。 ・カナダからのキャンバスが届いた箱を開けた日に動画を撮影。フォーラムにアップした。	・カナダの食べ物や文化について、より深く知ることができた。 ・カナダ側から送られてきた実物に迫力を感じていた。色もとても鮮やかで感動していた。	総合4

■アートマイルでついた力について教えてください。

評価 (5:とてもついた 4:ついた 3:どちらともいえない 2:あまりつかなかった 1:つかなかった)

学習目標・つきたい力	評価	先生が手応えを感じた場面・理由
自文化を理解する力	4	自分たちの町について考える機会となったから。
異文化を理解する力	4	海外の小学生と交流できたから。
情報活用能力 (収集・まとめ・発信)	2	子どもたちが進んで情報発信をしたいという意欲喚起ができなかったから。
コミュニケーション力 (双方向・共感・英語)	2	Skypeは英語の能力が高くないとあまり効果がないと思ったから。
批判的に思考する力 (客観的・論理的視点)	2	批判的にするまでの内容にならなかったから。
主体的に考え行動する力	3	絵を創作する過程で、自分たちで考えて取り組んで行動ができた。
他者と協働する力 (学級内・海外の相手)	3	絵の作成過程で、協力して取り組めたから。
想いを言葉や形にする力 (メッセージ作成・壁画制作)	2	自分たちのまちの文化を絵では表現できたが、英語の能力が高くない、言葉で表現するまではいかなかったから。
評価する力 (作品の鑑賞・学習の自己評価)	4	作品を鑑賞する中で、自分たちのがんばりに気づいたり、カナダへの愛着がわいたりしていた。